

#6 一人の新しい人の実際と実行のために

必要とされる祈り (2019.10.ITERO) 2019/12/16-22

Overview: 主題は新しい人のための祈りです。

IとIIは、「祈りとは何か」を説明します。正しい祈りは私たちを神の中にもたらしめます。真実な祈りにより、私たちは霊の中で主と一つであり、文化の外におり、他の人と互いに一となります。その時私たちは一人の新しい人に触れます。IIIとIVは、新しい人のためにどのようにうまずたゆまず祈って戦うか、またどのように祈りの生活を維持するかを説明します。Vは祈りの目的が、キリストの天の務めに応答して、天の供給とかしらの指示の下で、地上で神の行政をキリストのからだを通して執行することを説明します。

I. 私たちの祈りの支配する原則は、祈りが私たちを神の中へともたらすことであるべきです:

ルカ11:1-4 イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人が彼に言った、「主よ、…私たちにも祈ることを教えてください」。イエスは彼らに言われた、「あなたがたは祈る時、こう言いなさい、『父よ、あなたの御名が聖とされますように。あなたの王国が来ますように。私たちの日ごとのパンを、毎日、与えてください。私たちが自分に負債のあるすべての者を赦したように、私たちの罪を赦してください。私たちが試みに遭わせないでください』」。

A. 私たちの祈りが私たちを神の中へともたさないうときはいつも、それは間違っており、私たちはこのように祈り続けるべきではありません。

B. 正しい祈りの結果は、私たちが自分自身を神の中に見いだすことです。

II. 真実な祈りの時の経験は、私たちが一人の新しい人の実際に触れることができるようになります:

A. 真実な祈りの時、私たちは霊の中におり、主と一つ霊です。私たちはこのような時にキリストを生きています:

Iコリント6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。**1.** 私たちの日常生活は、真実な祈りの時の経験と同じであるべきです。**2.** 祈りにおける私たちの経験は、私たちの日ごとのクリスチャン生活の模範となるべきです。**3.** 私たちは祈るとき、主との交わりの中へと入り、私たちが真に主と一つ霊であり、主が実際に私たちと一つ霊であるという事実を感じます。**4.** 私たちは自分自身を祈る状態の中に保つなら、文化の外におり、主と一つ霊となり、彼の臨在を享受し、自然に彼を生きます。

B. 私たちは真実な祈りを経験するときにはいつも、自分の文化の外にいます。特に、私たちは自分の文化的な意見の外にいます:**コロサイ3:10-11** 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るよう、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。**1.** 私たちは真実な祈りを持ってば持つほど、自分の文化的な意見の外にいる経験をますます持ちます。**2.** 私たちは真実な方法で他の人と祈るとき、祈る霊の中で真に一です:**3.** そのとき、私たちは一人の新しい人の実際に触れます。**4.** そのとき、私たちは、新しい人がただキリストで構成されていること、この領域の中には文化の違いがないことを認識します。

III. 私たちはうまずたゆまず祈る必要があります。なぜなら祈りは戦い、戦闘と関係があるからです:**エペソ6:17-18** また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、こ

のために目を覚ましていなさい。**コロサイ4:2** うまずたゆまず祈り、感謝しつつ祈りの中で目を覚ましていなさい。

A. 神の側でサタンに敵対して戦うために、私たちはうまずたゆまず祈る必要があります。

B. 私たちは神の側に立つ者として、全宇宙が私たちに敵対しており、特に、私たちの祈りに敵対していることを見いだします:**1.** 私たちの環境の中で、ほとんどすべてが祈りに反対しています。**2.** 祈りに対する妨害は、私たちの外側にあるだけでなく、私たちの内側にさえあります。**3.** 祈ることは、墮落した宇宙における潮流、すう勢に抵抗することです:

4. 私たちは祈るために、私たちの環境の潮流に抵抗しなければなりません。**5.** もし私たちが祈らないなら、下流に押し流されるでしょう。**6.** 祈りだけが、私たちが潮流に抵抗させることができます。ですから、私たちはうまずたゆまず祈り、持続的に祈る必要があります。

IV. 一人の新しい人のためにうまずたゆまず祈ることは、キリストの平安と、キリストの言葉と、キリストとの結合の中の生活と関係があります:**コロサイ3:15-16** そして、キリストの平安に、あなたがたの心を裁定させなさい。この平安のためにあなたがたも、一つからだの中で召されたのです。そして感謝にあふれていなさい。知恵を尽くして、キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ、詩と詩歌と霊の歌とをもって、互いに教え戒め合い、恵みをもって、心から神に向かって歌いなさい。

A. キリストの平安、すなわちキリストご自身は、ユダヤ人と異邦人を一人の新しい人としました。今や私たちはからだの生活のために、一人の新しい人の実際的な出現のために、この平安に私たちの心を裁定させるべきです。

B. キリストが彼の頭首権を行使し、彼の豊富を私たちに供給する道は、彼の言葉を通してです:**1.** 私たちは閉ざすべきではなく、自分の存在を主に、また彼の言葉に開き、進んでキリストの言葉で満たされるべきです。**2.** 私たちはキリストの言葉に私たちの内側で行動させ、活動させ、存在させて、私たちの全存在がキリストの言葉で浸潤され、浸透されるようにする必要があります。**3.** 一人の新しい人のためにキリストの言葉が私たちの内に豊かに住むために、私たちはキリストの平安に、私たちの心を裁定させる必要があります。

C. キリストとの結合の中で生きることは、私たちが生活の中でキリストから離れないことを意味します。私たちは彼と一であり、その霊の中で行動することによって、すべての事を彼の御名の中で行ないます。

D. 私たちはキリストの平安によって支配され、キリストの言葉を住ませ、キリストとの結合の中で生活する必要があります。

V. キリストは彼の天の務めにおいて、とりなし、供給し、神の行政を執行しています。私たちは、キリストの天の務めにおける活動に応答する者となる必要があります:

コロサイ3:1-2 上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。あなたがたの思いを、…上にあるものに置きなさい。**ヘブル8:1** 私たちにはそのような大祭司がおられ、彼は天で威光ある方の座の右に着き。**啓5:6** 私はまた、御座…の間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つの目があつた。それは…神の七つの霊である。

A. キリストは大祭司として、とりなしています。彼は天の奉仕者として、供給しています。彼は神の七つの目を持つ贖い主として、行政を執行し、神の定められた御旨を完成します。

B. キリストの天の務めは私たちの応答を必要とします:

1. 私たちは地上でキリストの天の務めの反映となる必要があります。**2.** 上にあるものを求めることは、私たちがキリ

ストの天の務めに呼応することを意味します。3. 私たちは上にあるものを求めるとき、キリストの天の務めに応答し、それを反映します。4. 私たちがキリストと共に生きる目的は、諸召会のための彼のとりなしにおいて、聖徒たちに対する天的な命の供給の務めにおいて、彼が神の行政を執行することにおいて、彼と一になることです。

C. 私たちの祈りを通して、かしらであるキリストは道が与えられ、彼のからだを通して彼の行政を執行します：

コロサイ3:1-2 こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。あなたがたの思いを、地にあるものではなく、上にあるものに置きなさい。1. かしらはとりなし、供給し、行政を執行することによって天で働いています。私たち、からだは地上で働いて、キリストの天の務めに応答し、彼が行なっていることを反映しています。2. 私たちは祈るとき、天の大使であり、地上で神の王国を拡張しています。

D. 私たちは上にあるものを求め、キリストと一つの命と一つの生活を持つなら、私たちの主人の事業で完全に占有されます：1. 私たちの心は天で彼と共にあり、彼は天で諸召会のためにとりなし、聖徒たちを供給し、神の行政を執行しています。2. 私たちは天の務めにおいて主と一であり、主の心と一である心を持つことを渴望すべきであり、彼の祭司職、務め、行政において彼と一であることを切望すべきです。

E. 回復は「主の」回復であるために、彼の指示の下になければなりません：1. 天のキリストと地上の私たちの間に、神聖な伝達、天的な電流があります。2. 私たちは絶えず神聖な伝達を受け、天からの供給を注入され、天のキリストと私たちの間の往来を経験するなら、キリストのとりなし、供給し、神の行政を執行することに応答します。

Crucial Point(1):真の祈りは私たちを神の中へともたらし、一人の新しい人の実際に触れさせる

OL1:正しい祈りの結果は、私たちが自分自身を神の中に見いだすことです。OL2:私たちは真実な祈りを経験するときはずっと、自分の文化の外にいます。特に、私たちは自分の文化的な意見の外にいます。OL3:私たちは真実な方法で他の人と祈るとき、祈る霊の中で真に一です。そのとき、私たちは一人の新しい人の実際に触れます。

ルカ 11:1-4 イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人が彼に言った、「主よ、…私たちにも祈ることを教えてください」。イエスは彼らに言われた、「あなたがたは祈る時、こう言いなさい、『父よ、あなたの御名が聖とされますように。あなたの王国が来ますように。私たちの日ごとのパンを、毎日、与えてください。私たちが自分に負債のあるすべての者を赦したように、私たちの罪を赦してください。私たちを試みに遭わせないでください』」。

FN:この模範的な祈りは、1)まず神の御名、神の王国、神のみこころを顧みます。2)第二に、私たちの必要を顧みます。3)第三に、王国の民の神の御前での失敗と、彼らと他の人との関係を顧みます。王国の民は自分たちの負債、失敗、違反を御父に赦して下さるよう、求めるべきです。それは、彼らが自分に負債のある者を赦し、平和を維持するためです。4)第四に、王国の民が悪しき者と邪悪な事柄から救い出されることを顧みます。王国の民は御父に、自分たちを試みに遭わせないで、悪しき者、サタン、悪魔から救い出して下さるよう求めるべきです。

私は多くの時間を費やして、この簡潔な言葉を考察してきました。私の結論は、私たちがこのように繰り返し祈るなら、その結果は、私たちが自分自身を神の中へと祈り込むことになるということです。言い換えれば、この祈りの結

果は、私たちが自分自身を神の中に見いだすことです。

私たちは真実な祈りを持って持つほど、自分の文化的な意見の外にあり、主と一つ霊であり、キリストを生きているという経験をますます持ちます。悲しいことに、私たちは祈るのをやめるとき、自動的に自分の文化に逆戻りしてしまいます。

主は徐々に、彼を生きたら何の意味するかを見せてくださっています。キリストを生きたら一つの面は、祈る状態の中にとどまっているという面です。私たちはこの状態にあるとき、文化の外にいます。私たちはこの生けるパースンと一つ霊であり、彼を私たちの命またパースンとしているので、正常に生きようとする奮闘はありません。そうではなく、私たちは霊の中で主と一であるので、キリストの死が私たちに適用され、彼の復活の力が私たちの中で優勢となります。そのとき、私たちは自然に彼を生きます。

適用:新人編

主が示された模範的な祈りの四つの要点、すなわち、1)まず神の御名、神の王国、神のみこころを顧みる、2)私たちの必要を顧みる、3)自分の罪が赦されるために他人の自分に対する負債を赦す、4)王国の民が悪しき者と邪悪な事柄から救い出されることを顧みる、を理解して祈るなら、あなたは自然に神ご自身の中へと自分自身を祈り込むでしょう。

神は神の子供であるあなたの必要を必ず顧みられます。しかしあなたはまず自分の必要が顧みられてから神の必要を顧みると言うてはいけません。あなたが神に顧みられるため、まず神の必要を顧みる人になってください。この優先順位を新人の皆さんが学ぶことができますように。

例えば、今週仕事や学業が忙しいので、家庭集会を通常の時間で行うことができません。このような場合、別の時間を取って、15~20分の家庭集会を実施してください。また祈りの集会に参加できない場合、参加できないことが継続しないように注意してください。このようにして具体的にまず神の必要を顧みることを実行してください。主が新人の皆さんを祝福して下さいますように。

またあなたは他の人のあなたに対する負債を赦すことを訓練してください。あなたは神に赦されるため、他の人を赦す必要があります。他の人の負債を赦さない人は、文化から出て神の中へと祈り込むことができません。例えばあなたはある兄弟の負債を主の御前で赦しました。しかしその兄弟との交わりはできるだけ避けようとして。このような場合、それは完全に赦していないこととなりますので、主の御前に再び出て、「主イエスよ、私はこの兄弟の負債を赦したつもりでしたが、まだ完全に赦していません。主の恵みに頼り、この兄弟の罪を完全に、徹底的に赦します。そうしないと平安の中で兄弟と交わることができませんし、私が神ご自身の中に入ることできません。また私が大胆に私の罪を赦して下さいと言うこともできません。兄弟の罪を赦して神の中に祈り込むことができますように」と祈ってください。

Crucial Point(2):うまずたゆまず祈り、御言葉を内側に豊かに住ませ、霊的戦闘を戦う

OL1:神の側でサタンに敵対して戦うために、私たちはうまずたゆまず祈る必要があります。

OL2:私たちが祈るために、私たちの環境の潮流に抵抗しなければなりません。もし私たちが祈らないなら、下流に押し流されるでしょう。OL3:祈りだけが、私たちを潮流に抵抗させることができます。ですから、私たちはうまずたゆまず祈り、持続的に祈る必要があります。

戦いが宇宙において神とサタンとの間で激烈であるのですが、もう一つの当事者が関係しています。この第三者は神の選ばれ贖われた民、実際的に戦いの結果を決定する者から成っています。もし私たちがサタンの側に付くなら、たとえ神は全能であっても、破れます。無限で全権を有する創造主として、神はご自身を低くして彼の被造物の一つと戦うことをされません。

神の側でサタンに敵対して戦うために、私たちはうまずたゆまず祈る必要があります。うまずたゆまず祈ることは、流れをさかのぼって舟をこぐようなものです。…疑いもなく、こぐことでも祈ることでも、このようにうまずたゆまずいることは、多くのエネルギーを必要とします。全宇宙はサタンの影響の下にあり、神のみこころと相対しています。

祈りは霊的呼吸です。祈ることは呼吸することです。ある聖徒たちは祈りについての言葉を聞くと直ちに、どのように祈るのかと尋ねます。私たちはどのようにということをおぼえて、ただ祈るべきです。例えば、子供は歩くことによって歩くことを学びます。…同じ原則で、私たちは祈ることによって祈ることを学ぶのです。

キリストの言葉は新約聖書全体を含みます。私たちはこの言葉で満たされる必要があります。これは、私たちがキリストの言葉を内に住ませ、居住させ、ホームを造らせるべきであることを意味します。[コロサイ 3:16 において]「住む」と訳されたギリシャ語の言葉は、「家の中にいる、居住する」を意味します。…キリストの豊富は彼の言葉の中にあります。そのような豊富な言葉が私たちに住むとき、それは豊かに住まなければなりません。キリストの言葉は、私たちの内側で自由な経路を持つべきです。

キリストとの結合の中で生きることは、私たちが生活の中でキリストから離れないことを意味します。ヨハネ 15 章で、主は私たちに彼の中に住むようにと告げておられます。なぜなら、彼を離れては、私たちは何もすることができないからです。…聖徒たちの生活は、キリストとの結合の中になければなりません。これは、私たちの生活の中で、私たちが彼と一である必要があることを意味します。

適用：青少年・大学生編

青少年の兄弟姉妹は、うまずたゆまず祈って、神の側に立ちサタンに敵対して戦う必要があります。このような祈りをするために、あなたは神の言葉をあなたの中に豊かに住ませてください。Iヨハネ 2:14 若者たちよ、…あなたがたが強くあり、神の言があなたがたの中に住んでおり、あなたがたが邪悪な者に打ち勝ったからです。

(1)学生生活は戦いである：ここで重要なことは、まず学生生活が戦いであることを理解することです。サタンは若者たちの思考に働きかけ、勉強を嫌にならせたり、不道德な事、例えば同級生をいじめたり、姦淫を犯させたり、あるいは自殺に追いやったりします。サタンは世の中で自由に働いているので、あなたは霊的戦闘の中にいなければなりません。あなたは自分たちは若いので青年在職者のように戦う必要はないと考えてはいけません。日本の若者の死因の最大の原因は自殺です。この事はいかにサタンが若者のマインドを攻撃しているかを示しています。若い時から人は戦わなければサタンの食べ物になってしまうことを認識してください。

(2)祈りによって戦う：次に、この戦闘において、うまずたゆまず祈ることを訓練してください。召会では祈りの戦士の実行を勧めています。大人の兄弟姉妹は 30 分間、週に 3 回時間を決めて祈っています。青少年の兄弟姉妹は、10 分間、週に 3 回パートナーと一緒に祈ることができます。

(3)祈るために神の言葉を内側に豊かに住ませる：第三

番目に、御言葉を内側に豊かに住ませることです。祈りの戦士を実行する時、最初の 3~5 分は『朝ごとの食物』や『牧養シリーズ』などの御言葉やアウトラインを用いて祈り読みしてください。御言葉がなければ、あなたは祈り続けることができませんし、ましてや戦う祈りをすることはできません。

あなたが御言葉をもって祈り続け、霊的な戦闘を実行すればするほど、あなたは優れた学生になることができます。あなたのクラスメイトの多くは、人生が戦いであることを理解していません。さらにその戦いがサタンとの霊的戦いであることを理解している人はほとんど誰もいません。Iコリント 12:31 しかし、さらに大いなる賜物を、熱心に願ひ求めなさい。14:12 そこであなたがたは、霊について熱心に求めているのですから、召会の建造のために、卓越するように求めなさい。

あなたはさらに優れた学生になることを追い求めてください。そのために以下の 4 つの事を実行してください。

- ①毎朝復興 10~15 分/日、
- ②祈りの戦士 10 分×3/週、
- ③主の証しのために主と共に勉強して成績を上げる、
- ④友人に福音を伝える。

祈り：「おお主イエスよ、学生生活は戦闘であることを認識します。神の側に立ち、サタンに敵対するために、うまずたゆまず祈ります。御言葉を内側に豊かに住ませます。御言葉を使って戦いの祈りをします。重要なキー・ワードは、戦闘、祈り、御言葉です。パートナーと一緒に祈りの戦士を実行します。私を卓越した学生にしてください。」

Crucial Point(3):上にあるものを求め、キリストと一つの命と一つの生活を持ち、天の務めに応答する者となる

OL1:キリストは大祭司として、とりなしています。彼は天の奉仕者として、供給しています。彼は神の七つの目を持つ贖い主として、行政を執行し、神の定められた御旨を完成します。OL2:キリストの天の務めは私たちの応答を必要とします。OL3:私たちの祈りを通して、かしらであるキリストは道が与えられ、彼のからだを通して彼の行政を執行します。OL4:私たちは上にあるものを求め、キリストと一つの命と一つの生活を持つなら、私たちの主人の事業で完全に占有されます。OL5:回復は「主の」回復であるために、彼の指示の下になければなりません。

私たちは祈るとき、至聖所の中へと入り、恵みの御座に近づきます。ヘブル 4:16 は言います、「ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか」。祈りは恵みの御座に進み出る道です。私たちは恵みの御座に進み出て、あわれみと、時機を得た助けとなる恵みを受けます。私たちが祈り、恵みの御座に近づくと、あわれみと恵みは川となって私たちの中を流れ、私たちに供給します。これは何という褒賞でしょう！ 祈りの中で恵みの流れを受けることは、実は私たちの祈りが答えられることよりはるかに重要なことです。私たちの祈りが答えられるかどうかは、二次的なことです。

この恵みの川を受けることは、天的な電流をもって私たちの霊的な電池を充電することです。天的な電流、神聖な電気とは、御座から私たちの中へと流れ込む恵みとしての三一の神です。これがもたらす供給と享受は言い尽くすことができません。

私たちは上にあるものを求め、キリストと一つの生活を持つなら、私たちの主人の事業で完全に占有されるでしょう。私たちの心は天の彼と共にあります。彼は天で諸召会のためにとりなし、聖徒たちを供給し、神の行政を執行しておられます。これが私たちの関心、願ひとなります。私たちがキリストを命として、そのように上にあるものを求

めるなら、情欲に満ちた肢体は死に渡され、墮落した魂の中の邪悪な要素は捨て去られ、古い人は脱ぎ捨てられます。さらに、私たちは自動的に新しい人を着ます。

あなたは、天上の主と一であり、主の心と一である心を持つことを渴望しないでしょうか？ あなたは彼の祭司職、務め、行政において彼と一であることを切望しないでしょうか？ 私は特にすべての青年が、上にあるものを求め、キリストと共に生活することによって、神の定められた御旨を顧慮するようにと励まします。

私たちはみな主の權益を顧慮する必要があります。彼が天で祈っておられるとき、私たちは地上で祈りの中で応答します。こうして、私たちは、キリストと私たちとの間の伝達を経験します。その伝達は私たちを幸いにし、喜びで満たします。キリストは天で働かれ、私たちは地上で働きます。このようにして、私たちはキリストを、私たちの必要の実際として享受するだけでなく、彼を私たちの命とし、彼と共に一つの生活を持つのです。…そのように主と共に生活する結果が新しい人です。

適用：青年在職・大学院生編

旧約の時代に幕屋で仕えている大祭司は年に一度だけ至聖所に入ることができました。至聖所に入るとは、神の臨在の中に入ることです。ハレルヤ！ 新約の祭司であるあなたは、イエスの血を取っていつでも大胆に至聖所に入ることができ、神の臨在の中で神に仕えることができます。

会社では目標に到達するために、それぞれの部門に目標がブレイク・ダウンされ、それぞれのグループと個人にさらにブレイク・ダウンされます。今あなたは救われ、神の永遠の目標達成のために召会生活をしています。神の永遠のエコノミーのゴールは新しい人を生み出すことです。この目標に従って、神戸に在る召会では、主日の集会 156 人(10%成長)、週ごとの召会生活 220 人(11%成長)を、福音と牧養を毎週実行することで到達しようとしています。あなたはさらに、あなたの属する地区と個人の目標に向けて奮闘してください。

上記の召会の目標に到達するための奉仕が力強いものになるために、主の天の務めに地上のあなたが協力する必要があります。世の中の会社では、目標到達のために資金を注入します。召会では天的発電所からの電力の伝達が必要になります。あなたは地上で自分の力で奮闘するではありません。主の回復の中の諸地方召会は、キリストの天の務めに地上で応答し、神聖な命と力の伝達によって、神のみこころを地上で遂行します。自分にできない事でも、この天的伝達の下で前進することができます。またどのように兄弟姉妹を励まし、すべての肢体が福音と牧養において機能するのかを考える時、主の指示に従うべきです。

あなたは毎日、毎時間、時々刻々イエスの血を取り、霊に戻り、時期を得た助けを得て、主と一つになり、地上で天のキリストの務めに応答する者となることができます。これは、何と栄光なことでしょう！

祈り：「おお主イエスよ、キリストの天の務めに地上で応答する在職者となれることは何と栄光なことでしょう。いつでも主の血を取り恵みの御座に進み出て、天的発電所からの供給と伝達を受け、私の地区の目標に到達するために、牧養と福音において、主と共に奮闘することができますように」。

人生の奥義(2)：人の悲惨な状況⑤『自我』

A.「何と私は苦悩している者でしょう！ だれがこの死の体から私を救い出してくれるのでしょうか？」(ローマ7:24)。

B.善を行なって神を喜ばせようとする事のみじめさを描

写しています(ローマ 7:7 FN1)。

C.人々は、神のあわれみが必要であったことを表徴します。なぜなら彼らは…無力で弱く悩める者であったからです(ヨハネ 5:2 FN2)。

D.「私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」(ガラテヤ 2:20a)。

E.「私」という生まれながらの人は、律法を守って、完成されようとする傾向があります。ところが神は、私たちがキリストを生きることを願われます。それは、神が私たちの中で、キリストを通して表現されるためです。ですから、神のエコノミーは、「私」がキリストの死の中で十字架につけられ、そしてキリストが彼の復活の中で、私たちの中に生きられることです(ガラテヤ 2:20 FN3)。

F.キリストとその霊が「私」と肉の地位を奪い、信仰が律法に置き換わります。それは、私たちがその霊によってキリストを生きるためです(ガラテヤ 3:2 FN3)。

神から与えられる恵み、祝福⑤『真理』

A.「真理の中を歩いている」—真理は神聖な実際であって、虚栄の反対の意味です(IIヨハネ1:4 FN2、Iヨハネ1:6 FN6)。

B.「空の空、すべては空である…日の下に新しいものは何もない」—ある事がどれほど良く、卓越し、すばらしく、不思議であっても、それが旧創造のものである限り、日の下にある空の空の一部分です。天の下にあり、「日の下」にない新創造だけが、空ではなく実際です。…キリストが人生の歌の中の歌、満足の中の満足であることを強調し、それは日の下にある万物の空の空と相対します(伝道 1:2b、9 節 b 2 節 FN2)。

C.「恵みと実際はイエス・キリストを通して来たからである」(ヨハネ 1:17b)。

D.「イエスは彼に言われた、『私は道であり、実際であり、命である。私を通してでなければ、だれも父に来ることはない』」(ヨハネ 14:6)。

E.食べることと飲むこと、祭り、「これらは来たるべき事柄の影であって、その本体はキリストにあります」(コロサイ 2:17)。

私たちの取るべき態度⑦『呼び求める』

A.「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」—主の御名を呼び求めるのは、私たちが救われる秘訣であるだけでなく、主の豊富を享受する秘訣でもあります。神に選ばれ、贖われた人たちは、この秘訣によって、キリストの贖い、救い、彼の豊富すべてを享受しました。…主の御名を呼び求めるすべての人は、この豊富な主を享受します。その結果、彼らは彼で満たされ、彼を表現します(ローマ 10:13b FN1、2)。

B.「彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです」—彼の計り知れない豊富を享受する秘訣は、彼の御名を呼び求めることです(ローマ 10:12b FN1)。

C.「それゆえ、あなたがたは歓喜をもって、救いの泉から水をくむ、その日、あなたがたは言う、『エホバに感謝せよ、彼の御名を呼び求めよ！』」—命を与える霊としてのキリストは救いの多くの泉であって、三一の神の救いの源泉から湧き上がり、信者たちは彼から命の水をくみ、享受します。キリストは肉体と成った神として、三一の神の具体化です。イエス、すなわち、エホバ私たちの救い主また救いは、彼の身代わりの死の過程を通して、神の永遠の贖いを完成し、私たちの永遠の救いの源となりました。…私たちの救いとしての神を受け入れる道は、救いの泉から水をくむこと、すなわち彼を飲むことです。私たちの救いとなるために、三一の神は手順を経て、生ける水、命の水としての命を与える霊と成りました。生ける水は私たちの中に入って来ると、私たちの全存在に浸透し、私たちが養われ、造り変えられ、同形化され、栄光化されるようになります。…神の実際的な救いが、生ける水としての手順を経た三一の神ご自身です(イザヤ 12:3-4a 3 節 FN1、2)。